



山ぼうし

— 友愛・協調・責任 —

山ぼうしは「立志の樹」といわれ正門脇の「山ぼうし小庭園」には『花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし』の碑(初代PTA会長の盛合聡氏揮毫)がある。

宮古工業高等学校 校報 第3号 2015.6.11

目標と目的

校長 及川晃貴

目標とは「行動するに際して、そこまでは到達しようと決めたところ」とあり、目的とは「行動を始めるに際して、最終的な成果として期待し、その実現に向かって努力しようとする事柄」とあります。(三省堂「新明解国語辞典」)

学校生活に当てはめてみると、皆勤賞は欠席も遅刻も早退もせず「毎日出席し続ける」という目標に到達した人に与えられますが、皆勤を目指すことの最終の成果(目的)は「社会人としての素養が培われること」にあるといえます。

* * *

先週までの県高総体には本校から多数の部が出場しました。各部とも決勝トーナメント進出などの目標を掲げ、全力で戦ってきました。勝負事なので勝ち負けはつきませんが、忘れてならないのはこの活動をとおして「心身ともに健全な人間に成長すること」が目的であることです。

工作部が5月に出場したワールド・エコノ・ムーブは、大会事務局から与えられたバッテリーを自作の車に装着し、2時間での走行距離を競うレースです。部員たちは目標の距離を達成するため、車体の軽量化や空気抵抗を減らす工夫を積み重ね2台の車が出走しました。では、このレースの目的は何か?大会実施規定には、「この競技は与えられたエネルギーをいかに上手に使い切るかを競うものであり、創意工夫、知的挑戦のレースである」とありました。

* * *

生徒の皆さんには、さまざまある活動の目的を理解し、各自の目標を設定し、その達成に向けた取組をとおして自分をピッカピカに磨いていってほしいと思います。

○県高総体開会式

応援団

5月26日(火)に県営運動公園陸上競技場で、岩手県下81校の選手や応援生徒1万6千人が参加して開催されました。本校は応援団リーダーと1学年が参加し、応援・行進ともに大変立派でした。



○2015ワールド・エコノ・ムーブ

工作部

5月5日(祝)に、秋田県大潟村ソーラースポーツラインで開催されました。

本校からは、工作部が鉛蓄電池部門ジュニアクラスに2年生チーム1台、3年生チーム1台の計2台が出走しました。この日のため、1年間かけてコツコツと製作してきた白色と水色の競技車両がコースを疾走しました。成績は、20台中、

- ・2年生チーム宮工2015-2号が14位(58.9km)
 - ・3年生チーム宮工2015-1号が17位(40.7km)
- に入る健闘を見せました。

工作部(大潟村ソーラースポーツライン)



宮工2015-1号

宮工2015-2号

○高総体・熱戦を繰り広げる

一関優希君 (E3) が陸上競技100mで6位入賞を果たし、東北大会出場を決めました。

陸上競技部

100m **6位** 一関優希 東北大会出場
200m 準決勝進出
4×100mリレー 準決勝進出 (18位)
やり投 19位
5000m競歩 26位
400m・1500m・4×400mリレー 予選敗退
5000m・砲丸・円盤・走幅・走高 記録無し

バスケットボール部 男子

1回戦 本校 50 - 61 一関学院

バレーボール部 男子

2回戦 本校 0 - 2 釜石

卓球部 男子

学校対抗 1回戦 本校 3 - 1 盛岡中央
2回戦 本校 1 - 3 高田
ダブルス 2回戦進出・1回戦敗退
シングルス 3回戦進出・2回戦進出・1回戦敗退

ソフトテニス部 男子

団体 2回戦 本校 3 - 0 盛大附属
3回戦 本校 0 - 2 高田
個人 3回戦進出 (2ペア)・2回戦敗退

サッカー部 男子

1回戦 本校 4 - 1 福岡工
2回戦 本校 0 - 2 0 盛岡商

ラグビー部 15人制Bブロック

第1試合 本校 14 - 26 福岡工
敗者戦 本校 5 - 5 7 水沢・水沢工

柔道部 男子

団体予選リーグ 本校 1 - 3 盛岡農
本校 0 - 5 福岡工
個人 73kg級 2回戦敗退
90kg級 2回戦進出・1回戦敗退
100kg級 1回戦敗退

剣道部 男子

団体予選リーグ 本校 2 - 3 盛岡三
本校 2 - 2 紫波総合
個人 3回戦進出・1回戦敗退 (4名)

弓道部 男子

団体 準々決勝進出 (ベスト16)
個人 準決勝進出・予選敗退

○速報・放送コンテスト全国へ

放送委員会

6月8日～9日のNHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会で、本校がテレビドキュメント部門優秀賞 (2位) となり、7月20日からの全国大会に推薦されました。

番組名は「ひろや食堂」、本校近くにある食堂をとおして地域の今の様子をお知らせするものです。詳細は次号以降の校報に掲載します。

○同窓生に学ぶ「先輩に聞く会」

6月4日 (木) に、3年生を対象とした「先輩に聞く会」を開催しました。学科ごとに、本校の卒業生で各企業・事業所で活躍する先輩を講師にお願いして、「企業が求める人物像」や「高校生のうちに身につけておくべき事」、「人とのふれあいの大切さ」などについて、丁寧に教えていただき、社会に出るための心構えを身につけることができました。

* * *

講師の先輩方のお名前 (卒業年度・所属)

■機械科

西澤 力 氏 (H24卒・イ・エヌ大塚製薬(株)花巻工場)
休場 洋 氏 (H24卒・岩手アライ株式会社)

■電気電子科

出町武将 氏 (H24卒・ラサ工業(株)宮古事業所)

■建築設備科

佐々木富雄氏 (S57卒・(株)小成良治商店)



講師の佐々木富雄氏 (昭和57年度・設備工業科卒業)

○祝・日本水大賞受賞!

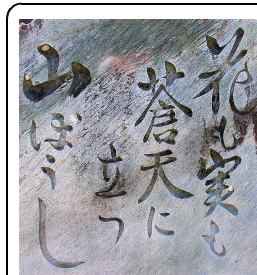
津波模型班

機械科津波模型班が、「第17回日本水大賞」(主催:日本水大賞委員会、国土交通省)を受賞しました。学校全体でこの快挙を讃えたいと思います。おめでとうございます。

これまで、長年にわたって実践してきた「地域特性を反映した津波模型による疑似津波の実演活動」が認められたもので、133件の応募の中から最高賞である「大賞」を受賞しました。

表彰式・受賞活動発表会は、7月7日 (火) に日本科学未来館で行われますので、その様子はあらためて校報でお知らせします。

* * *



編集後記

本年度スタートから2か月が経過し、第1期定期試験が間近に迫ってきました。自ら設定した「目標」を達成できるよう、集中力をもって取り組むことでしょう。(及川)